

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第1号 果 樹

発行日 平成21年 3月12日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

花芽率は平年よりも高め！

発芽は早まる可能性あり！！ 春作業を計画的に進めましょう！

りんご

1 花芽の状況

県内各地の定点観測樹における花芽の状態は、県平均の花芽率でみると、「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年より10%程度高くなっています(図1~3)。なお、弱小花芽率は、一部園地の「ふじ」でやや高いものの、県全体ではいずれの品種もほぼ平年並となっており、結実が順調であれば平年並みの作柄は確保できると考えられます。

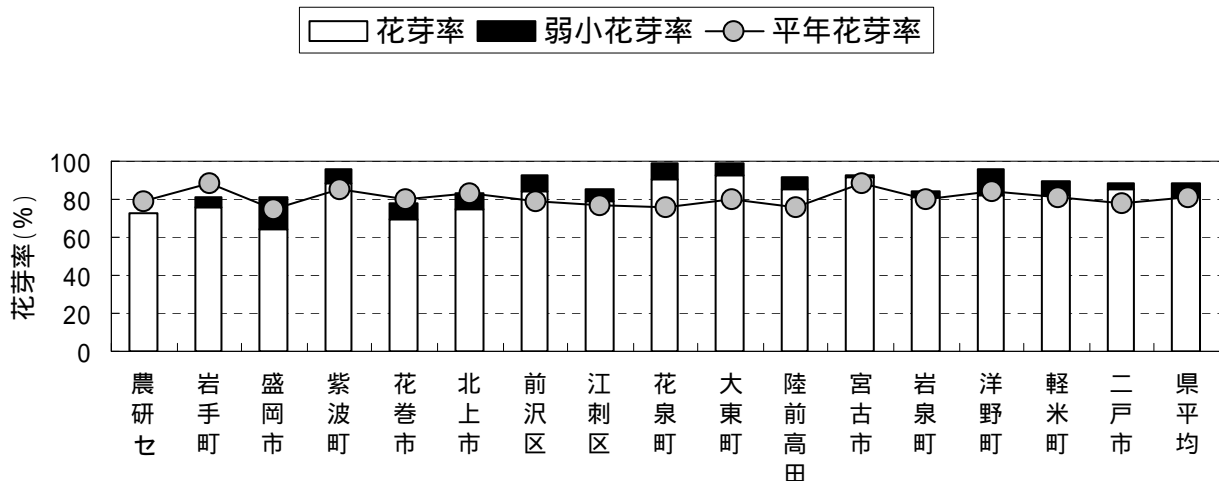


図1 平成21年産「つがる」の花芽率

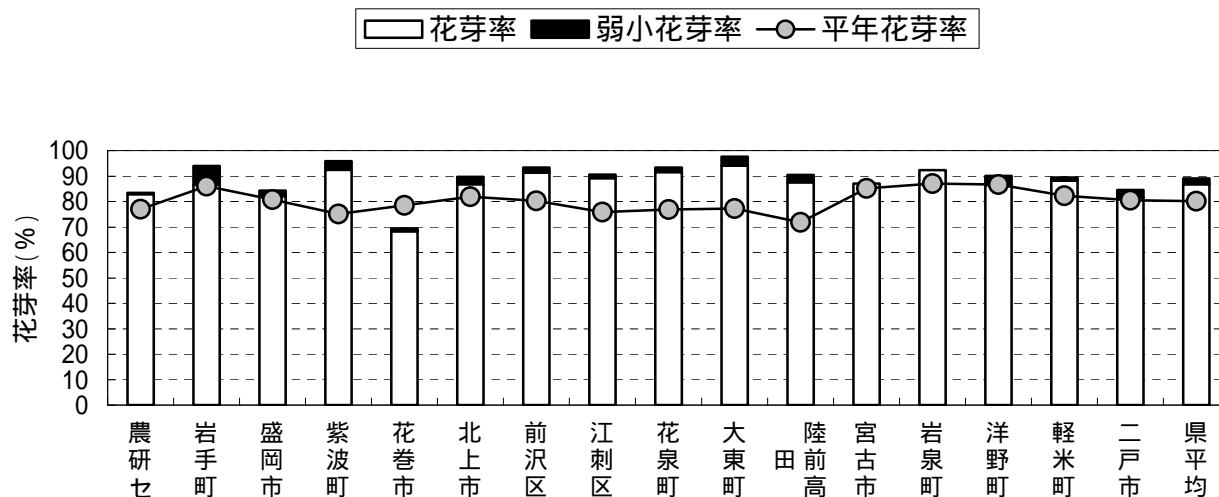


図2 平成21年産「ジョナゴールド」の花芽率

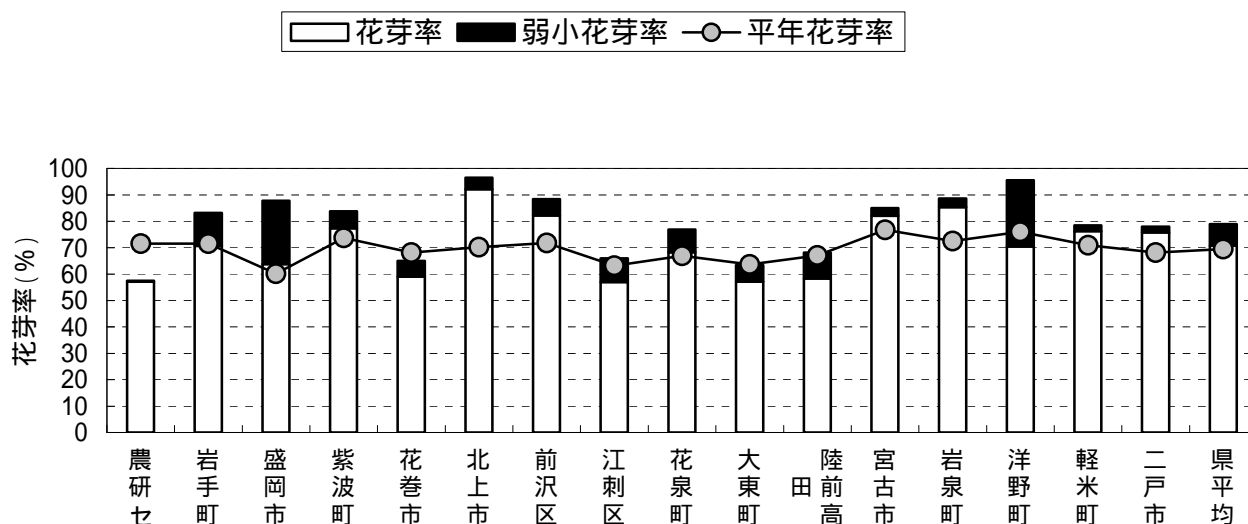


図3 平成21年産「ふじ」の花芽率

弱小花芽率は、全花芽中の弱小花芽（直径 3mm 以下）の割合

2. 作業の留意点

今冬は記録的暖冬となり、2月上旬までは気温がかなり高めで経過しました。3月上旬までは、ほぼ平年並みで経過したものの、今後、気温が高めで推移するとの予報が仙台管区气象台から出されており、りんごの発芽も早まる可能性があります（さくらの開花予想などが目安にできます）。

- (1) 防除作業や各種管理作業は、生育ステージに合わせて進める必要がありますので、薬剤の準備、剪定枝の片付けなどの園地整備を早めにし、作業の遅れが生じないようにしましょう。
- (2) りんごの花器は、開花期に近づくにつれ、低温耐性が下がってきます。さらに、近年の気象は変化が大きく、極端な低温による凍霜害発生の危険性が否定できません。燃烧資材の準備、防霜ファンの点検、防霜対策用スプリンクラーの設置など対策の準備を進めましょう。また、霜害の事後対策としては、人工授粉による結実確保が重要なので、花粉の準備も合わせて進めましょう。
- (3) 病害虫の発生状況については、病害虫防除所が発行する防除情報を参考に、適期防除に努めましょう。前年秋期にハダニ類の多発した園地では、殺ダニ剤の散布時期を早める他、粗皮削りや下草管理等を実施し密度低下に努めましょう。